

東京大学医学部附属病院麻酔科の

笠原外来を受診された患者さんへ

量子科学技術研究開発機構では、東京大学医学部附属病院と共同で、「慢性疼痛患者における脳血流分布の特徴抽出と診断支援法の開発」という研究を行っています。3か月以上にわたって体の痛みがあり、病院を受診された患者さんが、すこしでも早く適切な治療が受けられるよう、診断を支援する方法の開発を目的としています。このため、東京大学医学部附属病院麻酔科の笠原外来を受診され、治療を受けられた患者さんの脳血流SPECT検査等の診療データを使用させていただきます。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをご存知になりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

[研究課題名] 慢性疼痛患者における脳血流分布の特徴抽出と診断支援法の開発

[実施期間] 2020年8月17日～2027年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
分子イメージング診断治療研究部

[研究代表者] 高橋 美和子

[協力/共同研究機関] 東京大学医学部附属病院

[研究の目的] 難治性慢性疼痛患者の治療前の脳血流SPECTによってドーパミン神経賦活剤の有用性を予測すること。

[研究の方法・データの利用方法]

●対象となる方々

2015年4月1日～2026年9月に慢性疼痛に対して笠原外来を受診し治療を受けた方

●利用する情報及び利用方法

2015年4月1日～2026年9月までに得られた脳血流SPECTと痛み等に関するデータを、情報取り扱いにおいて安全管理された電子システムから収集します。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

個人が特定されないよう匿名化を行い、厳重な管理下において研究に使用します。

(各研究機関における個人情報保護の規則に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。)

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方(又は代理人の方)は、2025年9月30日まで、2025年10月から2026年9月までに治療を受けた方については2026年9月30日までに下記窓口にお申し出くださるようお願い致します。ただし、個人情報と切り離されて解析に使われてしまったデータは取り除けないことがあります。

ご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
分子イメージング診断治療研究部 高橋 美和子

電話：043-206-4074 (平日9:00～17:00)

